

一方、5号機 RHRポンプ (C) に6号機非常用 DG (6A) から電源を供給するために、発電所対策本部は、同月18日18時7分頃までに、6号機非常用 DG (6B) から6号機非常用 DG (6A) の DGSW ポンプに電源を供給し<sup>231</sup>、同日19時7分頃、同 DGSW ポンプが作動することを確認した。そして、発電所対策本部は、協力企業の協力を得て、同月19日2時頃までに、6号機非常用 DG (6A) から電源が供給される6号機 M/C6C から5号機 M/C5C の負荷側に仮設ケーブルを敷設し、6号機非常用 DG

図 II-3-3 5号機及び6号機のケーブル敷設ルート(略図)

仮設水中ポンプ設置及び5号機 RHR ポンプの電源復旧

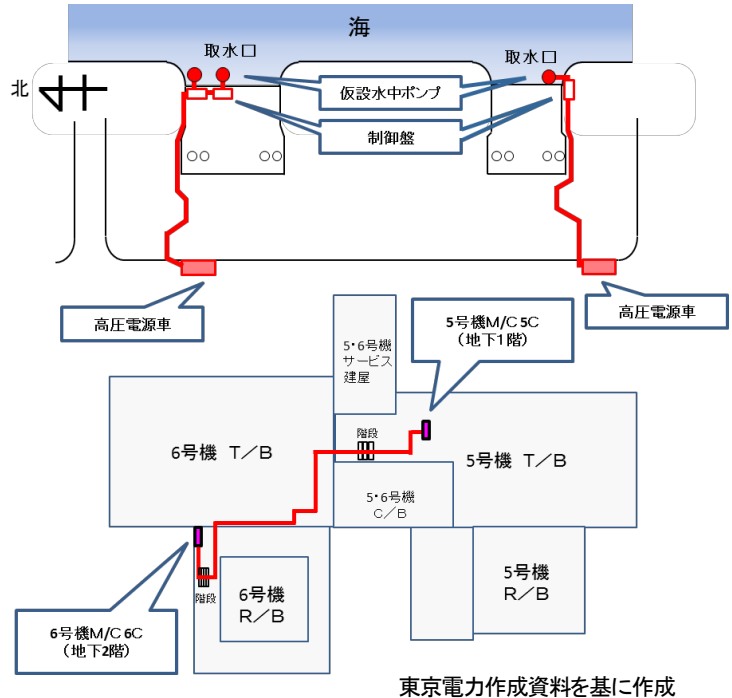
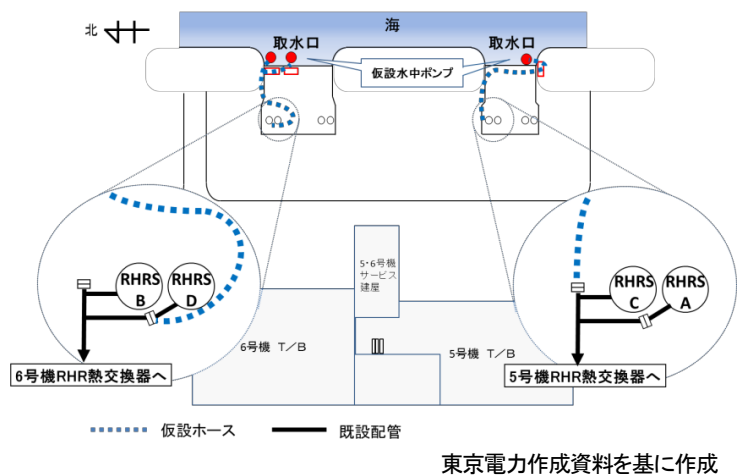


図 II-3-4 仮設水中ポンプのホース敷設ルート(略図)



<sup>231</sup> 6号機非常用 DG (6B) から給電されていた6号機 P/C6C を介して、DGSW ポンプを負荷とする DG6AMCC6C-5 に電源が供給された。

なお、中間報告 II 3 (3) b)において、6号機 M/C6C は、非常用 DG から受電していなかったため、その機能維持を不明としていたが、3月19日4時22分頃に、6号機非常用 DG (6A) から受電するに当たり、特段の復旧作業を要していないことから、機能を維持していたと考えられる。